

総務委員会 行政視察調査報告書

- 1 視察日 2023年5月16日（火）～18日（木）
- 2 視察先
調査事項 ○島根県雲南市
・小規模多機能自治について
○山口県萩市
・特定地域づくり事業協同組合について
- 3 視察者 委員長 清水 寛
副委員長 芦田 竹彦
委員 荒木 慎太郎
委員 木谷 敏勝
委員 村岡 峰男
委員 森垣 康平
委員 義本 みどり
当 局 谷岡 慎一（くらし創造部長）
議会事務局 山本 慎二



雲南市：説明を聴く委員



雲南市：議場にて



萩市：説明を聴く委員



萩市：萩市むつみ総合事務所 玄関にて

日 時	2023年5月16日(火) 午後4時00分～午後5時30分
視 察 先	島根県雲南市
調査項目	小規模多機能自治について
調査内容	<p>【小規模多機能自治とは】</p> <p>小学校区のような小規模エリアを対象に分野横断な多種の機能を持った住民による主体的な自治の仕組みで、各地域が抱える課題解決型組織。本市でいう地域コミュニティ組織。</p> <p>【設立の経緯】</p> <p>平成16年の6町村合併時から、行政と住民が物理的に遠くなり住民ニーズに応えきれないという危機感から、合併協議会で初代市長を中心に「コミュニティ・住民自治プロジェクトチーム」で協議がスタートし、住民自治への意識づくりが始まった。平成19年には全30地域に交流センターが設立し、地域自治のフロントランナーとしての取り組みが行われている。</p> <p>【事務局体制・行政支援】</p> <p>公民館を交流センターと名称変更し、所管は教育委員会から市長部局へ。各地域自主組織が指定管理者として管理運営する。常勤スタッフを各組織が雇用、指定管理料はセンターの維持管理費のみ。人件費と事業費は地域づくり活動交付金(過疎債・介護保険料)を配分、85%が人件費。人にお金を付けている。</p> <p>【自治会との違い】</p> <p>自治会は世帯主が中心で、活動よりも慣習的行事が多いが、一人一人が中心で課題解決型自治会とは補完する関係性(どちらも大事)。1世帯1票制ではなく、1人1票制のため、男性中心の自治会と異なり女性の参加も多い。</p> <p>【取り組み事例】</p> <p>商店が閉店した地域で食料品等を販売するマーケットを運営・水道検針の受託・自家用旅客運送事業(高齢者の移動支援)・幼稚園終了後の保育など。</p> <p>【行政の関わり方】</p> <p>行政から事業の実施依頼はせず、地域づくり担当職員が直接支援し、他地域と情報交換ができる仕組みを作っている。多様なニーズを受け止め意識できるように定期的に研修を実施し、3年毎に制度を見直す。ニーズに合っていない事業は随時休止または廃止し、常に変化していくことを意識している。</p>
所 感	<p>活動事例「幼稚園終了後の子どもの保育事業」は、幼稚園の認定こども園への移行に伴い廃止されたが、子育て世代の課題を地域の課題と捉え、住民自治で解決し、その後追いで行政サービスが実施されていることに驚いた。危機感の差はあるが危機感を持っていない地域はないとのことであった。</p> <p>本市地域コミュニティ組織は平成29年度より29地区に設置し、課題解決型事業も実施され始めているが、危機感や世代格差が大きい。本市小学校ではコミュニティスクールも順次開始される。両者が地域内でうまくリンクすると、新たな気づきが生まれ住民自治への意識が芽生えるチャンスである。</p>

日 時	2023年5月17日(水) 午後3時30分～午後5時00分
視 察 先	山口県萩市
調査項目	特定地域づくり事業協同組合について
調査内容	<p>【特定地域づくり事業協同組合とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少によって、農林水産業・商工業の担い手不足が起きている。 ・担い手を確保するために、マルチワーク（多業）の仕組みを活かして、季節毎の労働需要等に応じて、人材を派遣する仕組み。 <p>【組合運営費に対する財政支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣職員の人件費上限400万円／年・人 1/2は利用料、1/2を国と市で折半。 ・事務局運営費上限600万円（うち萩市300万円（150万円は国庫）） <p>【給与・賃金等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣職員 給料：月額160,000円（最低保証） 賞与：夏・冬1月給料相当額を支給（7・12月） ・事務局職員 給料：月額150,000円（定額） 福利厚生：健康保険、厚生年金雇用保険、労災保険、退職金等 休日：原則として、土・日・祝日、年末年内 <p>【仕事概要（職種）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業、林業、畜産業 例) 野菜の選果作業、農産物収穫管理作業、農作業（草刈り、稲刈り、田植え、集出荷等）、枝打ち、間伐、畜産補助 ・製造業 例) 酒蔵の作業、とう精、運搬
所 感	<p>農林水産業、商工業等の担い手不足は豊岡市においても課題である。</p> <p>萩市における特定地域づくり事業（マルチワーカー）の最大の課題は、冬の雇用先の確保である。</p> <p>萩市には冬の仕事・雇用先が少なく持続的な仕事の確保が難しいが、本市には、神鍋高原スキー場があり、この点では相性がよいと考える。</p> <p>また、課題として事務局の負担が多いことがあげられる。</p> <p>農業は天候によって仕事が大きく左右されるので仕事の調整が必要になる。</p> <p>地域との繋がりが強い方がいないと派遣先との調整も難しく、簡単にシステム化ができない点も課題であるように感じた。</p> <p>香美町でも同様の制度を利用されており、豊岡市でも十分参考にできる取り組みである。</p>